

グリーン購入法のあり方の 検討（案）について

令和元年10月1日

目次

1. より高い環境性能の製品・サービスの調達 に向けた論点

前回検討会での委員御意見①

制度全体に関する御意見

- グリーン購入法のあり方検討における3つの課題 (SDGs等) を基本方針にどう盛り込むか全体的に検討していくべき
- 紙とプラスチックの関係も考えなければいけない
- (古紙対応について) 基準の改定はポリシー、コンセプトをきちんと持つべき。都度動かすのは危険
- 数年かけて、具体的にどの制度・施策との連携の可能性があるか、洗い出し・検討に着手すべき

➤ 見直しが予定されている政府実行計画や策定が予定されているバイオプラ導入ロードマップなどとの協調も視野に入れながら、引き続き内容について検討を進めるのはどうか

前回検討会での委員御意見②

制度運用に関する御意見

- 環境省なりに、この辺りなら新商品が出せそうかなど、具体化する時期。10年後くらいを考えていくのがグリーン購入法の義務
- 提案募集の受付については通年としてはどうか
- 特定調達品目について品質・性能の問題が生じていないか、現場に確認していくべき

➤ それぞれの御意見について次ページ以降のように対応していくのはどうか

制度運用に関する御意見への対応①

- 特定調達品目において、判断の基準、配慮事項に加えて、新たに「今後の基準化予定（仮称）」を記載していくこととしてはどうか
 - 判断の基準及び配慮事項については「翌年度4月時点で、ある程度の市場流通が確認できる見込みがあるもの」でなければ、制度設計上、記載するのが困難
 - 事業者側からは「グリーン購入法で基準化されるならば環境用品の生産量を増やすよう準備（増資）を始めることができる」等の御意見もあるところ
 - 将来基準化する見込みがあるものについて明記していくことで、事業者側の意欲向上を促すことができるのではないか

課題

- 当該項目に記載した内容については、比較的短期間で判断の基準、又は配慮事項に格上げしていくことが重要ではないか
- 実現にはどのような状態ならば今後の基準化予定（仮称）に明記できるか整理する必要があるのではないか
- 次回以降の検討会より、具体の検討を進めていくのはどうか

制度運用に関する御意見への対応案②

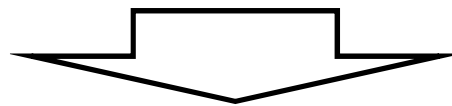
- 提案募集については通年での受付としてはどうか。
 - 募集受付を通年にすることにより、これまでタイミングを逸し埋もれてしまった提案を丁寧に拾い上げられるのではないか
 - ※手続きの都合上、6月以降に受付した提案は次年度での対応となる
 - 品質、性能の問題を確認するため、特定調達製品を調達できなかった場合にその理由をアンケートで確認することとしてはどうか。
 - 物品・役務等調達においては必要性能等を併せて仕様書記載して発注するため、契約が成立した場合、品質、性能に不足は生じないと思料
 - 特定調達品目の設定に問題がある場合、調達不可となると考えられ、それらを精査に分析することがさらなる改善に有用なのではないか。
- これらについては、それぞれ次回実施時より、対応していくの
はどうか

2. 国以外の主体によるグリーン購入の促進に 向けた論点

前回検討会のご議論

- 事務局からの提示内容

- 人的余裕がない中小の地方公共団体向けに特化した資料（簡易キット）を作成してはどうか
- 都道府県及び政令市を核とするグループを対象としたグリーン購入連絡会議（仮称）の開催・運営を支援するのはどうか。
- 具体的には、モデル都道府県を1つ選定して試行し、組織的实施率向上のノウハウを蓄積した後、地方環境事務所所在地、全国へ試みを広げていくこととしてはどうか



- 今般、グリーン購入導入キット（仮称）の素案を提示。

グリーン購入導入キット検討案

グリーン購入未実施の小規模地方公共団体を対象とした支援策

● 導入キット

- グリーン購入の意義
- グリーン購入の導入に向けた取組

➤ 基本ツール

- ・ 導入品目 (優先事項: 効果、集計のしやすさ、施策との関係)
- ・ 調達方針例 *変更履歴
- ・ 集計ツール (エクセルフォーム)
- ・ 公表例 (結果、CO2削減量など)

➤ 導入推進資料

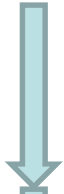
- ・ 幹部への説明資料 (SDGs、パリ協定などへの貢献)
- ・ 関連部署への説明資料 (〃)
- ・ 各部門への説明資料 (全体像の説明、必要性、役割、効果)

● 継続支援策

- ・ 県庁、グループ連携活動などによる支援
 - ・ 定期的な担当者会議の実施
- ・ 上記の内容で、今年度「試行版」としてまとめてはどうか

導入支援の試行スケジュール案

2019年



- 導入キット案の作成
参考資料、過去の事例から導入キットの「施行版」を作成する。

- 候補組織の選定
100%実施達成可能性のある組織、達成度の低い組織、地理的に支援のしやすい組織

- 県庁、地域組織グループとの協力
協力可能な県庁、グループの情報収集

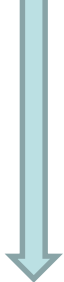
- 候補組織との相談

- 導入キット試行

課題ヒアリング、導入キットの修正、実務支援開始、効果測定、導入後のフォロー体制確率

- 導入キットの修正、公開に向けて引き続き作業

2020年



- 以上のスケジュール案にて作業を進めるのはどうか。